



クローバー通信

第171号



令和3年6月10日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉

〒191-0054 日野市東平山 3-1-1

☎042-585-8061

【 オリンピックができるの？やるの？ 】



ワクチンを打つ医者が足りないと歯科医まで動員し、薬剤師にも打てるようにするか？などと騒いで大変な事態です。ここまで騒ぎになっているのも最初から「ワクチンを打つしか手がない」のに、ワクチン確保にどんなに金をかけても手に入るとか、自国で開発するのに財源をつぎ込むとか、このどれもやらずに、何とか収まってくれないか？オリンピックができるように「だましまし騒ぎを大きくしない」よう、自粛の掛け声だけを繰り返してきた結果です。

雨の日が増えるにつれ、アナベル（紫陽花）の花芽も大きくなり、雨に濡れての開花の姿は、六月の風物詩です。利用者の皆さんに、ワクチン接種がようやく進み、少し安心ですが、まだまだ注意が必要で、マスク、手洗いの徹底等もう少し頑張りましょう。

利用者の皆様には不自由な生活を、ご家族の皆さんには面会制限とご迷惑をおかけしますが、辛抱強くご協力のほどを切に、お願い申し上げる次第です。

施設の歴史とともに、前庭の樺の木がどんどん大きく立派に成長しています。この樺の風格ある姿のように、コロナ禍にあっても、利用者の皆様・ご家族の皆様のご協力をいただき、日々の生活が潤いのあるものなるように、職員一同、工夫してまいります。

保育園ひよこハウス豊田の子どもたちの大きな鯉のぼりが、中庭に泳いで目と心を和ませてくれましたが、6月も、全施設のご利用者・職員の皆さんを楽しませてくれる飾りつけができないか、ひよこハウス豊田の皆さんに考えてもらいます。

子どもたちも、ご利用者のおじいちゃん・おばあちゃんと一緒にいろいろな行事で遊べ、皆さんの笑顔を見られることを楽しみにしています。

感染予防のために、いろいろと不自由な生活を願うことで、心苦しい限りですが、ご利用者・ご家族の皆さん、今月もよろしく願い申し上げます。

佐々木 榮一

